SOMPO



経済・金融市場見通し

2026年11月

2026年11月18日発行

ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者関東財務局長（金商）第351号
加入協会／一般社団法人資産運用業協会

経済・金融市場見通し：　国内

2026年11月13日時点

経済環境

：緩やかな経済成長を予想

日本経済については、政府の経済対策や企業の設備投資が国内景気を下支えすると考えます。ただし、中東情勢の影響を受けてエネルギー高、原材料価格の上昇が景気の下押し圧力となることから、経済成長のペースは小幅にとどまると予想します。

物価については、9月の消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比2.1%（8月1.7%）となりました。今後は政府の物価対応政策の影響が剥落するため、円安と資源価格の影響が強まり、2%後半程度の伸び率で推移すると予想します。

日銀は、エネルギー価格の上昇や円安による、インフレの上振れに警戒をさらに強めつつある中で、引き続き政策金利を引き上げると予想します。

債券市場

：利上げ継続観測から、上昇方向の推移を予想

◆ 前月の振返り

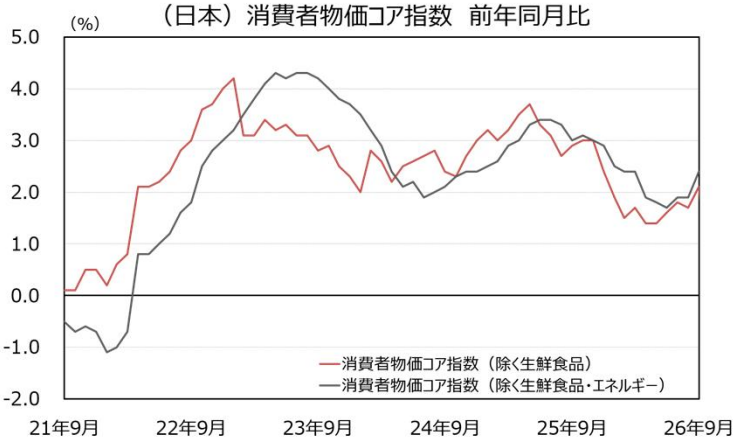
10月の長期国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

AI関連企業への過剰投資懸念により株価が下落したことや、良好な国債入札結果を受け投資家の国債需要回復が見込まれたことなどから、利回りは低下しました。

◆ 見通し

今後については、金利は上昇基調での推移を予想します。

銀行貸出増加などを背景とした市中資金のタイト化や政府の財政拡張路線から金利は上昇しやすいと考えます。なお、AI関連投資の持続性に対する不透明感が高まる場合には、一時的に金利が低下する局面があると見込みます。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
国内債券　10年国債利回り	2.35%	2.78%	2.90%	3.00%	3.10%	3.10%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　国内

2026年11月13日時点

株式市場

：底値を固めつつ、回復を窺う展開を予想

◆ 前月の振返り

10月の国内株式市場は下落しました。

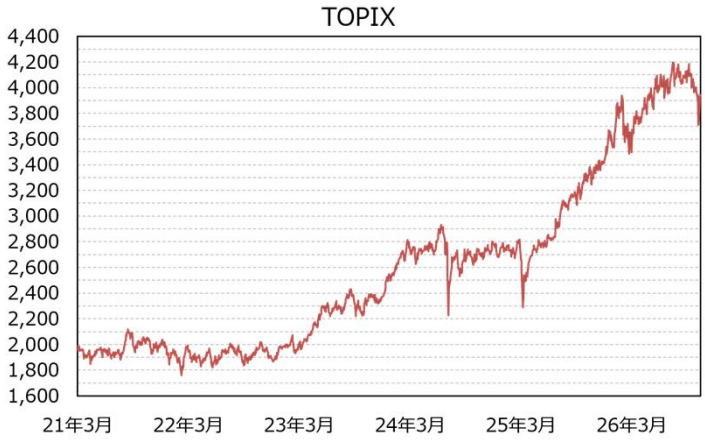
AI関連事業の資金調達リスクが意識され、株価下落の要因となりました。

◆ 見通し

国内株式市場は、底値を固めつつ回復を窺う展開になると予想します。

AI関連銘柄を中心としたバリュエーション調整により、市場全体の予想PERは再び割安な水準まで低下してきました。低下の背景となったAI関連投資の持続性に対する懸念は燻り続けることが想定されますが、グローバル景気が大幅に悪化しない限りは、非AI銘柄への悪影響は限定的であり、現状程度のバリュエーション水準は維持できるとみています。加えて、AI関連需要が鈍化した場合であっても、今年度の企業業績は堅調に推移する見込みであり、今後は業績主導の株価形成に回帰するとみています。

一方、長期金利の上昇が続けば、AI関連投資が抑制され、市場全体のバリュエーションも低下させる要因となるため、調整局面への警戒は怠れません。しかし、高水準の自社株買いを背景とする良好な需給環境や、欧米対比で緩和的な姿勢を維持する日銀の金融政策が下支えとなり、相場が大きく崩れる可能性は低いと考えます。



Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
国内株式　TOPIX	3,497.86	3,965.07	4,010	4,100	4,150	4,220

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　米国

2026年11月13日時点

経済環境

：目先は総じて安定した推移を予想

米国経済は、中東情勢の緊迫化による直接的な影響が相対的に限定的であり、底堅さを維持しています。ガソリン価格の高止まりによる家計の購買力低下や消費者マインド悪化を通じた個人消費減速への懸念はあるものの、通信関連を中心とした旺盛な設備投資需要が下支えとなり、実体経済は拡大基調を維持する見通しです。

物価と労働市場は、インフレ圧力が根強く残る一方、雇用環境は緩やかに需給緩和が進んでいます。９月の個人消費支出（PCE）コア価格指数は前年比+3.1%（8月：同+3.0%）と小幅に加速した一方、10月の失業率は4.1%（9月：4.2%）と底堅く推移しています。

10月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では政策金利が据え置かれました。今後についても、労働市場の過熱感が乏しいなか、FRBは雇用情勢とインフレ動向を慎重に見極めながら政策運営を進めると考えています。

債券市場

：金利は高止まりを予想

◆ 前月の振返り

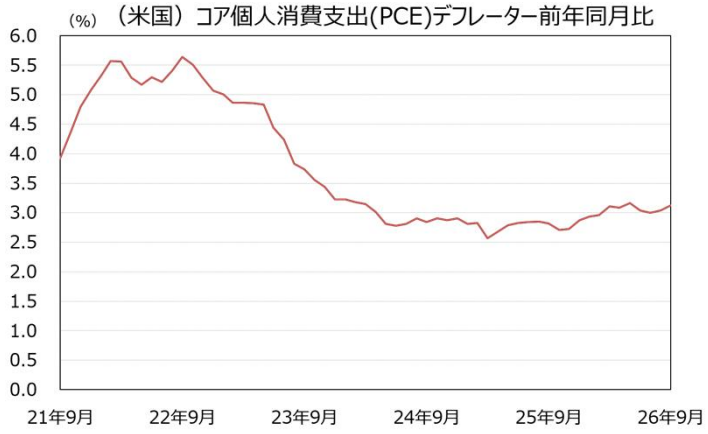
10月の米国債券利回りは、低下（価格は上昇）しました。

米国でAI関連株が急落したことや、フランスで予算案を巡る財政懸念が高まったことなどから、市場のリスク回避姿勢が高まり、米国国債は買われ利回りは低下しました。

◆ 見通し

今後については、金利は高止まりしやすいと予想します。

中東紛争の不透明感が続くなか、エネルギー価格は高止まりしており、当面はインフレ上昇への警戒感からFRBの追加利上げ観測が続きやすいことや、AI投資の資金需要増加を受けて実質金利に上昇圧力がかかりやすいことなどから、金利は高止まりしやすいと予想します。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
米国債券　米国10年国債利回り	4.32%	4.93%	5.00%	5.10%	5.20%	5.20%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　米国

2026年11月13日時点

株式市場

：様子見の展開を予想

◆ 前月の振返り

10月の米国株式市場は下落しました。

月前半にはS&P500指数が過去最高値を更新したものの、その後は一部AI関連企業の社債急落を契機に、AI投資の資金調達に対する懸念が高まり、AI関連株・半導体株を中心に大きく下落しました。一方で、テクノロジー株の調整を受けた安全資産需要から米10年債利回りは低下し、金利低下の恩恵を受ける非AI関連銘柄やディフェンシブ銘柄は総じて底堅く推移しました。

◆ 見通し

今後については、様子見の展開を予想します。

従前からのAI投資回収への懸念や高金利下での資金調達環境への警戒感に加え、米中間選挙後はAI規制や政策変更への不透明感も高まっています。AI関連株や半導体株を中心に売り圧力が強まる中、期待されていたAI関連銘柄の大型IPO実施も流動的となっており、投資家心理を好転させる材料は乏しく、当面は政策動向や金利・資金調達環境を見極める様子見の展開を予想します。

為替市場

：方向感に乏しい展開を予想

◆ 前月の振返り

10月のドル円相場は、小幅なドル高円安となりました。

米国消費者物価が市場予想を上回ったことなどからドルが買われた一方で、米国でAI関連株が急落したことなどから市場のリスク回避姿勢が高まり、円が買われました。月を通してみると小幅な円安ドル高となりました。

◆ 見通し

今後については、方向感に乏しい展開を予想します。

日本の貿易赤字の拡大や高市政権の財政拡張路線が円安圧力となる一方、日銀の利上げ観測や米国金利の上昇一服はドル安円高要因になることから、ドル高円安が進む余地は限定的と考えます。また、急速に円安が進む場合には日米の通貨当局による協調介入が警戒されやすいことから、方向感に乏しい展開を予想します。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
米国株式　S&P500	6,528.52	7,580.07	7,500	7,700	7,800	8,000
為替　　米ドル/円	159.09	157.49	157.50	158.00	158.50	159.00

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　欧州

2026年11月13日時点

経済環境

：当面は緩やかな成長を予想

欧州経済は、域内の拡張的な財政政策が景気を下支えする一方、フランスの政治的不透明感が重石となっており、実体経済の本格的な回復にはなお時間を要する状況です。

10月の消費者物価指数（CPI）コア指数は前年比+2.5%（9月：同+2.5%）と横ばいで推移し、賃金への二次的な波及は引き続き限定的でした。一方、エネルギー高を背景にインフレ率はECB（欧州中央銀行）の目標水準を上回っており、物価の高止まりには引き続き注意が必要です。

ECBは10月の理事会で政策金利を据え置きました。エネルギー高を背景としたインフレ上振れリスクを警戒する一方、長期金利の上昇や景気回復の鈍さが実体経済へ与える影響にも配慮する姿勢を示しています。今後も長期金利やエネルギー価格の動向を注視しながら、物価安定と景気への影響のバランスを重視した政策運営が続くとみています。

債券市場

：金利は高止まりを予想

◆ 前月の振返り

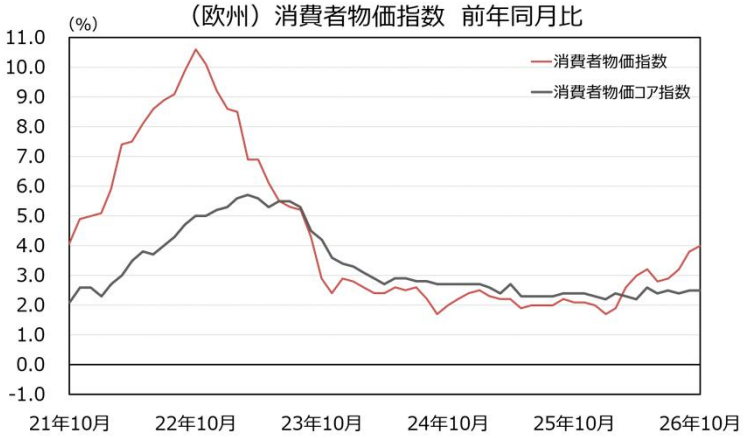
10月のドイツ債券利回りは、低下（価格は上昇）しました。

米国でAI関連株が急落したことや、フランスで予算案を巡る財政懸念が高まったことなどから、市場のリスク回避姿勢が高まり、ドイツ国債は買われ利回りは低下しました。

◆ 見通し

今後については、金利は高止まりしやすいと予想します。

中東紛争やウクライナ紛争が長期化するなか、天然ガスなどのエネルギー価格が高止まりしており、当面はインフレ上昇への警戒感からECBの追加利上げ観測が続きやすいことや財政負担の増加が意識されやすいことなどから、金利は高止まりしやすいと予想します。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
欧州国債　ドイツ10年国債利回り	3.00%	3.32%	3.40%	3.50%	3.60%	3.60%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　欧州

2026年11月13日時点

株式市場

：不安定さを残しつつも底堅い展開を予想

◆ 前月の振返り

10月の欧州株式市場は上昇しました。

金利や原油価格の高止まりに対する警戒感が続く中、テクノロジー株から非テクノロジー株への資金シフトが進み、ヘルスケアなどのディフェンシブセクターを中心に底堅く推移しました。

◆　見通し

今後については、不安定さを残しつつも底堅い展開を予想します。

原油高、域内金利の上昇、フランス政局など複数の懸念材料は残るものの、AI関連株への集中からの資金シフトが進む中、欧州株は米国株対比での割安感から資金流入の受け皿となる可能性があります。このため、当面は不安定さを伴いながらも底堅い推移を予想します。

為替市場

：方向感に乏しい展開を予想

◆ 前月の振返り

10月のユーロ円相場は、ユーロ安円高となりました。

フランスで予算案を巡る財政懸念が高まったことなどから、ユーロが売られました。加えて、米国でAI関連株が急落したことなどから市場のリスク回避姿勢が高まり、円が買われました。月を通してみると円高ユーロ安となりました。

◆ 見通し

ECBの利上げ観測と日本の貿易赤字の拡大や高市政権の財政拡張路線がユーロ高円安圧力となる一方、日銀の利上げ観測が継続していることや欧州ではフランスの政治リスクと財政不安が高まっていることから、ユーロ高円安が進む余地は限定的と考えます。また、急速に円安が進む場合には日米の通貨当局による協調介入が警戒されやすいことから、方向感に乏しい展開を予想します。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
欧州株式　MSCI EUROPE指数	2,327.05	2,554.13	2,550	2,600	2,650	2,700
為替　　ユーロ/円	183.30	175.80	177.19	176.96	176.73	176.49

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　新興国

2026年11月13日時点

経済環境

：中国は景気低迷継続

新興国は米国金融政策・関税政策を注視

中国では、住宅市場の下落による逆資産効果が続き、消費や投資の成長が伸び悩むとの状況に変わりがありません。土地オークション金額の急激な減少により地方財政が逼迫され、財政改善のために富裕層向けの海外収入による所得税徴収が本格化されています。財源が引き続き乏しい中、大規模なインフラ投資のような即効性のある景気刺激策の実施は見込まれる状況ではありません。

新興国においては、内需が総じて底堅く推移している一方、米国の利上げ観測の高まりを受けたドル高や、トランプ政権による関税政策が景気の下押し要因になると考えます。

債券市場

：リスク回避姿勢の高まりなどから目先は不安定な展開を予想

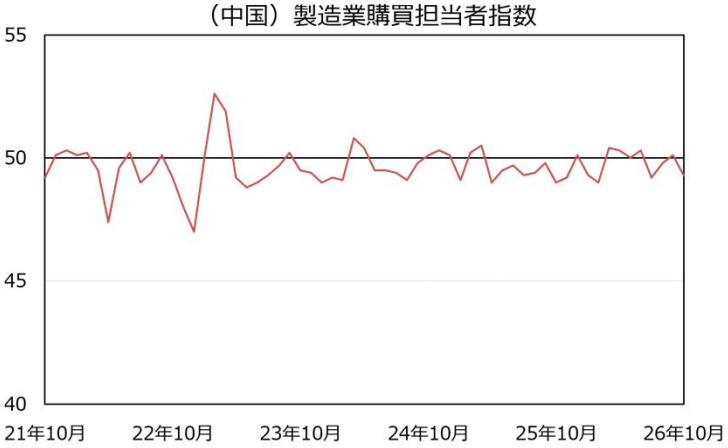
◆ 前月の振返り

10月の新興国債券市場の利回りは、全体としては先月末とほぼ同水準となりました。

新興国債券市場の利回りは、国ごとにまちまちの展開となりました。ブラジルでは、市場予想に反して左派のルラ氏が大統領選挙で再選したことから、財政懸念が高まり利回りは上昇しました。一方、ハンガリーでは、2030年に向けたユーロ導入を含む中期経済計画を公表し、財政収支の改善を図る方針を示したことなどから、利回りが低下しました。

◆ 見通し

中東情勢の長期化懸念やAI投資の持続性への懸念などからリスク回避姿勢が高まる局面では、新興国債券市場からの資金流出が懸念されます。また、米国の利上げ観測の高まりに起因するドル高は、新興国の自国通貨安に起因するインフレ期待の上昇を招くため、短期的には不安定な相場展開を予想します。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
新興国債券 JPMorgan新興国債券指数（利回り）（注1）	6.37%	6.57%	6.40%	6.40%	6.40%	6.40%

予測値は予想レンジの中心値を記載

（注1）　JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

経済・金融市場見通し：　新興国

2026年11月13日時点

株式市場

：セクターごとにまちまちの展開

◆ 前月の振返り

10月のエマージング株式市場（現地通貨ベース）は大きく下落しました。

AI関連銘柄については、米国の一部AI関連企業の社債急落を契機に、AI投資の資金調達に対する懸念が高まり、今年に株価が大きく上昇してきたメモリー関連株を中心に急落しました。また、その他銘柄については、中東情勢に対する警戒感が続く中、中国では、海外資産所得にかかわる確定申告の締切直前に納税のための換金売りが膨らみ、下落しました。

◆ 見通し

今後については、セクターごとにまちまちの展開を予想します。

AI関連銘柄については、中間選挙で勝利した米民主党がデータセンター規制に前向きな見方を示したことから、巨額なAI投資に対する楽観的な論調が後退し、株価の調整が進むと考えます。一方で、その他銘柄については、AI関連株と比較して業績が相対的に弱いことやドル高に伴う資金流出懸念を受けて今までは過小評価されてきたが、AI株の調整局面とドルの上昇一服に伴い再評価される可能性が高まり、株価は戻りを試す展開に移ると予想します。

為替市場

：目先は上値が重いものの、ファンダメンタルズによってまちまちの動き

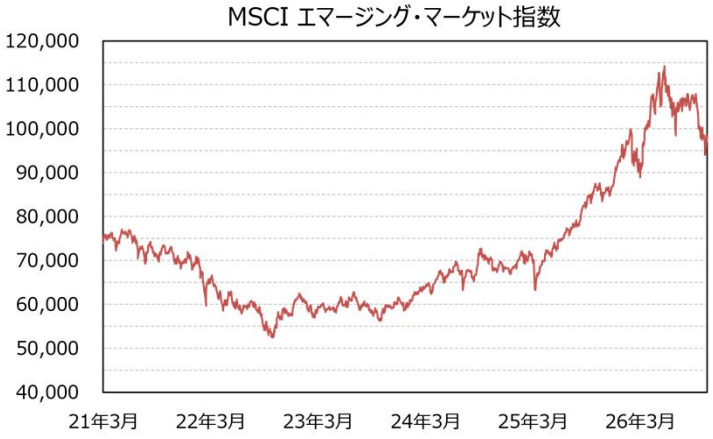
◆ 前月の振返り

10月の新興国通貨は、対円で下落しました。

市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、新興国通貨市場は下落しました。大統領選挙で拡張的な政策スタンスを掲げるルラ大統領が市場予想に反して再選したことなどから、ブラジルレアルが下落しました。また、市場のリスク回避姿勢の高まりを受けたキャリートレードのポジション解消の動きなどにより、高金利通貨のメキシコペソや、南アフリカランドなどが下落しました。

◆ 見通し

今後については、各国のファンダメンタルズによってまちまちの動きになると考えますが、市場のリスク回避姿勢が強まっていることなどから、全体としては上値が重い展開を予想します。





Bloombergデータより当社作成

	26年3月末 実績値	26年10月末 実績値	26年12月末 予測値	27年3月末 予測値	27年6月末 予測値	27年9月末 予測値
新興国株式 MSCI エマージング・マーケット指数	88,857.75	97,794.34	104,000	103,000	103,000	103,000
為替　JPMorgan 新興国通貨指数（円ベース）（注1）	7,352.82	7,117.06	7,324	7,347	7,450	7,473

（注1）　JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

2026年11月13日時点

各資産クラスのリターン実績

青色は期間中に最も高いリターンであった資産クラス、
赤色は期間中に最も低いリターンであった資産クラスをそれぞれ意味します。
（国内株式のバリュー指数・グロース指数、外国債券の円ヘッジ、および短期資産を除く）

2026年10月末時点

	国内債券	国内株式			外国債券		外国株式	新興国債券	新興国株式	短期資産
			バリュー指数	グロース指数		円ヘッジ				
過去1ヶ月間	1.8%	-3.5%	-3.5%	-4.2%	1.5%	1.5%	-0.3%	-0.5%	-7.8%	0.1%
過去3ヶ月間	0.5%	0.0%	-0.3%	0.1%	-1.9%	-0.6%	-0.4%	-3.1%	-6.4%	0.3%
過去1年間	-5.2%	21.7%	29.3%	17.3%	1.9%	-2.8%	14.7%	4.9%	17.0%	0.9%
過去3年間（年率）	-3.2%	23.6%	28.3%	21.0%	6.5%	0.1%	24.5%	9.8%	24.5%	0.5%
過去5年間（年率）	-3.3%	17.5%	24.6%	11.7%	5.1%	-4.5%	18.5%	10.2%	14.6%	0.3%
過去10年間（年率）	-1.6%	13.7%	15.9%	12.0%	4.8%	-1.7%	18.6%	7.0%	13.1%	0.1%
2025年度	-5.4%	34.6%	46.0%	25.7%	12.4%	-0.5%	26.6%	18.9%	38.6%	0.6%
2024年度	-4.7%	-1.5%	2.3%	-4.9%	1.8%	-1.3%	6.8%	3.0%	7.4%	0.2%
2023年度	-2.2%	41.3%	54.9%	28.8%	15.3%	-3.4%	42.9%	20.8%	23.5%	0.0%
2022年度	-1.7%	5.8%	10.1%	1.5%	-0.5%	-10.2%	2.4%	9.3%	-1.6%	0.0%
2021年度	-1.2%	2.0%	8.1%	-3.8%	2.0%	-5.1%	23.0%	1.6%	-2.3%	0.0%
2020年度	-0.7%	42.1%	40.5%	43.8%	5.4%	-1.9%	59.8%	16.9%	62.7%	0.0%
2019年度	-0.2%	-9.5%	-16.2%	-2.3%	4.4%	7.5%	-12.4%	-9.2%	-19.4%	-0.1%
2018年度	1.9%	-5.0%	-5.2%	-4.9%	2.5%	1.8%	10.1%	-3.3%	-3.3%	-0.1%
2017年度	0.9%	15.9%	12.5%	19.6%	4.2%	0.9%	8.5%	7.9%	19.7%	-0.1%
2016年度	-1.2%	14.7%	19.9%	10.4%	-5.4%	-1.9%	14.5%	4.6%	16.6%	0.0%
2015年度	5.4%	-10.8%	-12.6%	-8.8%	-2.7%	1.2%	-8.6%	-7.8%	-17.2%	0.1%
2014年度	3.0%	30.7%	28.0%	33.2%	12.3%	9.5%	23.5%	3.5%	17.4%	0.1%
2013年度	0.6%	18.6%	18.0%	19.4%	15.3%	1.4%	32.4%	1.7%	8.4%	0.1%
2012年度	3.7%	23.8%	21.6%	25.5%	17.7%	4.6%	29.0%	23.0%	16.9%	0.1%
2011年度	2.9%	0.6%	1.0%	0.3%	5.0%	7.9%	0.5%	2.7%	-9.2%	0.1%
2010年度	1.8%	-9.2%	-11.2%	-6.9%	-7.5%	0.6%	2.4%	0.1%	5.4%	0.1%
2009年度	2.0%	28.5%	30.5%	28.2%	0.2%	2.1%	46.8%	29.3%	71.8%	0.1%
2008年度	1.3%	-34.8%	-29.0%	-41.1%	-7.2%	5.0%	-43.3%	-13.4%	-47.3%	0.4%
2007年度	3.4%	-28.1%	-28.3%	-27.4%	0.5%	2.3%	-16.8%	-1.8%	2.6%	0.5%

Bloombergデータより当社作成

国内債券	NOMURA-BPI（総合）
国内株式	TOPIX（配当込み）
国内株式　バリュー指数	ラッセル野村バリュー指数
国内株式　グロース指数	ラッセル野村グロース指数
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
外国債券　円ヘッジ	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジベース）
外国株式	MSCI KOKUSAI（配当込み、円ベース）
新興国債券	(～2018/01)JPMorgan新興国債券指数（円ベース） (2018/02～)JPMorgan新興国債券指数（除くBB-格未満、円ベース）
新興国株式	MSCI エマージング・マーケット指数（配当込み、円ベース）

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

市場予測

		2026年3月末 実績値	2026年10月末 実績値	2026年12月末 予測値	2027年3月末 予測値	2027年6月末 予測値	2027年9月末 予測値
国内債券	Nomura-BPI総合	330.41	326.18	324.66	323.67	322.67	324.29
	10年国債利回り	2.35%	2.78%	2.90%	3.00%	3.10%	3.10%
国内株式	TOPIX	3,497.86	3,965.07	4,010	4,100	4,150	4,220
	日経平均株価	51,063.72	63,290.11	60,100	61,500	62,250	63,300
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	672.67	663.36	669.70	673.10	676.67	684.41
	米国10年国債利回り	4.32%	4.93%	5.00%	5.10%	5.20%	5.20%
	ドイツ10年国債利回り	3.00%	3.32%	3.40%	3.50%	3.60%	3.60%
	JPMorgan新興国債券指数（利回り）（注1）	6.37%	6.57%	6.40%	6.40%	6.40%	6.40%
外国株式	MSCI KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）	10,908.21	12,439.47	12,450	12,850	13,130	13,540
	S&P500	6,528.52	7,580.07	7,500	7,700	7,800	8,000
	MSCI EUROPE指数	2,327.05	2,554.13	2,550	2,600	2,650	2,700
	MSCI エマージング・マーケット指数	88,857.75	97,794.34	104,000	103,000	103,000	103,000
為替	米ドル/円	159.09	157.49	157.50	158.00	158.50	159.00
	ユーロ/円	183.30	175.80	177.19	176.96	176.73	176.49
	JPMorgan 新興国通貨指数（円ベース）（注2）	7,352.82	7,117.06	7,324	7,347	7,450	7,473

注1　JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成
注2　JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

ご留意事項

投資一任契約に際しての一般的な留意事項

● 投資一任契約に係るリスクについて

投資一任契約に基づく運用は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従ってお客様から受託した資産の当初の評価額（元本）を下回ることがあり、さらに元本を超えて損失を被るおそれがあります。

投資一任契約の投資対象は、個別の投資一任契約毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご契約に当たっては契約締結前交付書面等の書面又は書面に記載すべき事項を電磁的方法により提供された内容を十分にご確認ください。

● 投資一任契約に係る費用について

[ご契約頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■投資一任契約の期間中に直接または間接的にご負担いただく費用

…… 投資一任報酬をご負担いただきます。適用する料率は、運用の対象となる資産、契約資産残高、契約内容等に応じて異なりますので、料率、上限額等を表示することはできません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

■その他の費用等

…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※当該投資一任契約に係る費用の合計額については、契約期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資一任契約を想定しております。投資一任契約に係るリスクや費用は、それぞれの投資一任契約により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に契約締結前交付書面等の書面又は書面に記載すべき事項を電磁的方法により提供された内容を十分にご確認ください。

投資信託をお申込みに際しての留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。
又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等の書面又は書面に記載すべき事項を電磁的方法により提供された内容をよくご覧下さい。

●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

■購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入手数料上限3.85%（税抜3.5%）
■換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保金上限0.５%
■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬上限2.09%（税抜1.9%）
■その他費用等・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。
「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》
上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ＳＯＭＰＯアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面等の書面又は書面に記載すべき事項を電磁的方法により提供された内容をよくご覧下さい。

その他　留意事項

- 本書は、情報提供の目的でＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社（以下当社）が作成した資料です。

- 本書は、当社が、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。

- 本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。

- 本書は、法令に基づく開示書類ではありません。

- 当社は、グローバル投資パフォーマンス基準（Global Investment Performance Standards, GIPS®)への準拠を表明しています。なお、当社は、2012年4月1日から2025年3月31日の期間について独立した検証者による検証を受けております。当社は機関投資家向け資産運用及び投資信託運用の意思決定過程が一体化しておりますので、GIPS基準では、全体を「会社」として定義しております。なお、当社のコンポジットの概略一覧表およびGIPS基準に準拠した提示資料は、ご請求に応じご提出可能です。
GIPS®はCFA協会の登録商標です。CFA協会は、本組織を認証または推奨するものではなく、また、本書に記載されている内容の正確性または品質を保証するものでもありません。

- 請求先：ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社
投資顧問営業部　電話：03-5290-3418

- 尚、検証は、会社のコンポジットおよびプールド・ファンドの維持管理ならびにパフォーマンスの計算、提示、および配布に関する方針と手続が、GIPS基準に準拠してデザインされ、会社全体に適用されているかどうかについて保証を行うものです。検証は、特定のパフォーマンス報告書の正確性を保証するものではありません。